

平成24年6月28日

## 原料費調整制度に基づく平成24年8月検針分のガス料金について (群馬南地区)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成24年8月検針分の単位料金を、平成24年7月検針分と同額にさせていただきます。

今回の調整は、平成24年3月～平成24年5月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に33m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で平成24年7月検針分と同額になります。

平成24年8月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量                      | 料金表A<br>0～23m <sup>3</sup> | 料金表B<br>24～233m <sup>3</sup> | 料金表C<br>234m <sup>3</sup> ～ |
|-------------------------------|----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 基本料金<br>(円/月)                 | 724.50                     | 882.00                       | 2,457.00                    |
| 調整単位料金<br>(円/m <sup>3</sup> ) | 118.12                     | 111.38                       | 104.64                      |
| (参考)<br>7月<br>調整単位料金          | 118.12                     | 111.38                       | 104.64                      |

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量<br>33m <sup>3</sup> (43.14MJ/m <sup>3</sup> ) | 平成24年 7月 | 平成24年 8月 | 増減 |
|--|----------|----------|----|
| 適用料金(円/月)  | 4,557    | 4,557    | 0  |

\* 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

\* 平成24年2月検針分から、供給ガス標準熱量引上げに伴い、標準家庭におけるガスご使用量を36m<sup>3</sup>から33m<sup>3</sup>に変更しました。

### 3. 原料価格の変動

| (円/t)       |                                |                                |           |
|-------------|--------------------------------|--------------------------------|-----------|
|             | 平成24年2月～平成24年4月 の平均<br>(7月検針分) | 平成24年3月～平成24年5月 の平均<br>(8月検針分) | 対前期<br>差額 |
| 平均原料価格(a)   | 18,210                         | 18,210                         | 0         |
| LNG         | 68,970                         | 70,770                         | 1,800     |
| 基準平均原料価格(b) | 11,380                         |                                |           |
| 差額(a-b)     | 6,800                          | 6,800                          | 0         |

\* LNG価格は貿易統計値。

\* 平成24年3月～5月の平均原料価格は原料費調整制度の上限値18,210円(基準平均原料価格11,380円×1.6)を超えたため、18,210円を平均原料価格としています。

\* 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 70,770 \times 0.27 * 1 \\ &= 19,107.90 \\ &\quad \downarrow (10\text{円未満四捨五入}) \\ &= 19,110 \text{円/t} * 2 \end{aligned}$$

\*1 0.27は液化天然ガス(LNG)の混入比率

\*2 平均原料価格が原料費調整制度の上限値18,210円を超えたため、以後の原料価格変動額の算定、単位料金調整額の算定では、18,210円を平均原料価格とします。

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} 18,210 \text{円/t} - 11,380 \text{円/t} &= 6,830 \text{円/t} \\ &\quad \downarrow (100\text{円未満切捨て}) \\ &= 6,800 \text{円/t} \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 6,800 \text{円} / 100\text{円} \times 0.0798 * \\ &= 5.42 \text{円} \quad (\text{小数点第3位切捨て}) \end{aligned}$$

\* 変動額100円につき単位料金を0.0798(0.076×1.05)円調整します

<標準家庭における影響>

| (消費税込)   |          |          |    |
|--|----------|----------|----|
| 1カ月のご使用量<br>33m <sup>3</sup> (43.14MJ/m <sup>3</sup> ) | 平成24年 7月 | 平成24年 8月 | 増減 |
| 適用料金(円/月)  | 4,557    | 4,557    | 0  |

\* 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

本体料金(税込) = 基本料金(882.00円)

$$+ \text{調整単位料金}(105.96\text{円} + 5.42\text{円}) \times 33\text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(11,380円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5カ月前から3カ月前の3カ月平均におけるLNGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>当たり0.0798円(0.076円に1.05(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNGの貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が18,210円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は18,210円としてガス料金の調整を行います。